



NNA (THAILAND) CO., LTD.

23/61 Sorachai Building 18 Floor, Sukhumvit 63 Road, North Klongtan, Wattana, Bangkok, 10110 Thailand
Tel : 02-392-0475 Fax : 02-392-0479 E-mail : sales_th@nna.asia

MCI(P) 033/03/2018

倉庫型リユース店で新境地 ワットマン、買取店も年内開設へ

総合リユース店のワットマン（横浜市）が、タイで倉庫型の大型リユース店という新たな業態で新境地を開拓している。17日には倉庫型としては2店目となるタイ3号店を、バンコク近郊に開業。タイ事業の足場も固まってきたため、今年上半期（1～6月）にもバンコクで、日本と同様に買い取りをする総合リユース店を開業する計画だ。これまで日本から輸出した商品の販売のみを行ってきた倉庫型店は、タイで買い取った商品を販売するチャンネルにもなるため、日タイで国際的な循環型経済を加速させる。

描く循環型経済
つなく未来



ワットマンは昨年7月に海外1号店としてタイに倉庫型の販売専門のリユース店をオープン。同社は日本で「トコトン買取」と称して、ブランド品ではない衣類や一部壊れた家電でも可能な限り値段を付けて買い取り、値段が付かない商品も全て引き取っている。ワットマンは日本国内に50店舗を展開し、買い取り量が拡大しているためリユース品の新たな販売先としてタイを開拓している。



ワットマンは、タイで2店舗目となる倉庫型の大型リユース店をオープンした=17日、タイ・サムットプラカン県（NNA撮影）



玩具コーナーには一点物の商品も多く、掘り出し物を探す人でにぎわっている=17日、タイ・サムットプラカン県（NNA撮影）

バンコク東郊サムットプラカン県バンブリー郡にオープンした倉庫型の新店舗（約400坪＝約1,322平方メートル）。開店前には「徹夜組」を含めて120人以上が列を作り、午前10時の開店と同時に小走りで目当ての棚へ向かうと、用意した大きな袋に商品を詰め込んだ。

販売方法は倉庫型の1号店（サムットプラカン県ブレイクサー）と同じく、品目ごとの量り売りを採用。玩具や衣類、靴、かばん、食器などが、1キログラム当たり100～300パーツ（約360～1,080円）で売られ、自転車やカメラ、ギターは単品で値段を付けている。

商品は全てワットマンが日本で買い取り、タイへ輸出した。ワットマン（タイランド）の安田典之・取締役は「3号店はこれまでで最も大きな店舗。新店舗でも週1回、10トンのコンテナで商品を日本から運び込む予定だ」と意気込む。

タイの倉庫型店には一般消費者だけでなく、バイヤーの来店も多く、玩具なら玩具、靴なら靴と品目ごとに大量に買い付けていく。「週1回仕入れる新商品はほぼ売れていく」（安田氏）といい、1号店は開業以来黒字を計上している。ワットマンのタイでのフェイスブックのフォロワーは9,000人を超え、知名度は徐々に高まっている。

タイでも「トコトン買取」を検討

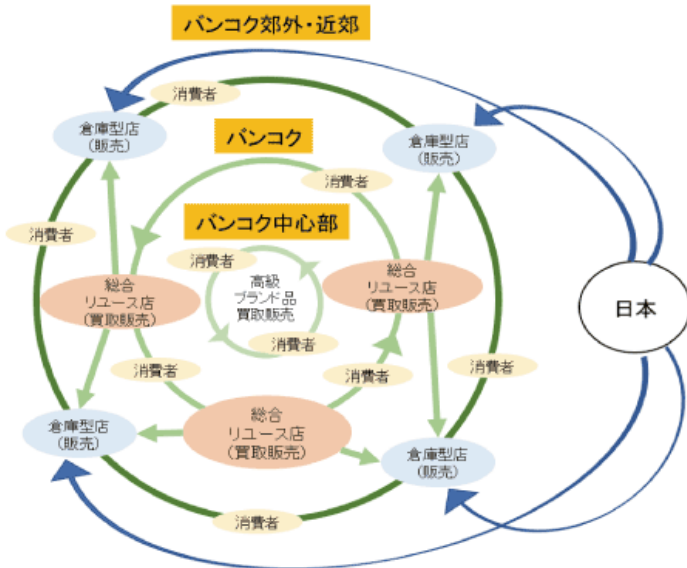
ワットマンが次にタイで目指すのは、「本業」とも言える商品の買い取り販売を行う総合リユース店の開設

だ。ワットマンはタイ 2 号店として、バンコク中心部の商業施設「ターミナル 21」に高級ブランドの売買を手掛ける小型店を昨年 9 月に新店したが、総合リユース店については出店のタイミングを見計らってきた。

コク中心部で買い取りを断られる物も、ワットマンの郊外店では客層の違いから売れる可能性が高いからだ。客層の異なる販売チャンネルを充実させ、リユースする回数を増やすことが廃棄物の削減につながり、「ワットマンが目指す循環型社会の実現に近づく」(小松氏)。小松氏は「買い取りをする店舗をバンコクに持ち、サテライト(衛星)のようにバンコクの郊外に倉庫型店を増やし、多層から成るリユース市場を創る」という構想を描いている。

川畑泰史社長は「ワットマンの日本での買い取り状況から、タイで倉庫型店をあと 2 店は出店できる」とも話す。川畑氏によると、日本の同業他社が買い取った商品をタイの倉庫型店で販売することも検討している。その場合は店舗を増設する可能性もある。2 年目を迎えるワットマンの海外事業について、川畑氏は「年商 2 億円を目指したい」と語る。タイで蓄積した倉庫型店の運営ノウハウを生かし、「グローバルな循環型社会の形成」を目指す考えだ。(京正裕之)

ワットマンが実践する国際リユース循環のイメージ図



※矢印はモノの流れのイメージ 出所:取材を基に NNA 作成

小松創常務は、「上半期にバンコクで新店し、日本と同じ『トコトン買取』をしたいと考えている」と話す。日本人駐在員らが転勤などで引っ越しをする際、家財道具や日用品などを売りたいという需要が大きいとみて、新店を急ぐ。小松氏は「ワットマンがタイでも買い取りをすることで廃棄物を減らし、社会のインフラになりたい」と語る。

タイにも買い取りを行うリユース店はあるが、物によっては買い取りを断るケースが一般的。一方でワットマンは、客が買い取りを希望する商品を全て買い取る「トコトン買取」を、タイで実施することを検討している。それを支えるのが郊外の倉庫型店となる。一般的にバン



楽器は人気が高く、地元のバイヤーが買い付けに来ることも多い = 17日、タイ・サムットプラカン県 (NNA 撮影)

NEWS HEADLINES

- 【循環型経済】倉庫型リユース店で新境地
- 【商業】深南部に特定免税店設定へ、移動閣議で協議
- 【車両】EV生産のロードマップ、年内に策定へ
- 【運輸】商船三井ロジ、現法が陸送と通関事業を開始
- 【運輸】ウタパオ空港拡張、価格審査でBBSリード
- 【運輸】スワンナプーム免税品引渡所、応札は1社
- 【運輸】空港混雑で航空会社の負担増、年3.6億円も
- 【建設】バンコク中華街の複合施設、正式に開業
- 【電機】コーウェイ、空気清浄機・浄水器販売倍増へ
- 【製造】レジ袋配布停止、メーカーの債務拡大見通し
- 【製造】消費財サハ、20年も厳しい事業環境を予測
- 【IT】ICTスマート、カンボジア航空管制を上場
- 【サービス】ポーランドの格安フィットネス、事業を停止
- 【医薬】東北部 2 県の 9 病院、干ばつで水不足を懸念
- 【社会】19年の訴訟196万件、麻薬関連が最多
- 【金融】20日為替: \$ 1 = 30.345 ()

- 1 **アジア情報**
- 3 【社会】各地に対策チーム派遣、新型肺炎拡大の恐れ 7
- 3 【車両】ベトナムの自動車輸入、19年は69%増 7
- 3 【経済】NE DOの3案件、JCMのクレジット発行 8
- 4 【農水】韓国現代系がマンゴー加工工場、輸出も開始 8
- 4 【運輸】ヤンゴンバス、2539台に電子決済装置を設置 8
- 4 【車両】マヒンドラ、車専門のECサイトを買収 8
- 5 **特集**
- 5 【タイ進出実務】第56回 タイの遺言(3) 10
- 5 【アジアで会う】伊達文香さん イトバナシ代表 11
- 6 **マーケット情報、その他**
- 6 商品市況 12
- 6 クロスレート 12
- 6 マーケット情報 為替と株式 13
- 7 各地のコラム 14